ジャンル
エッセイ／アイヌ

寿郎社9月の新刊

〒060-0807
札幌市北区北7条西2丁目37山京ビル
TEL 011-708-8565
E-mail info@jurousha.com

15歳で疲れきって「もうアイヌやめるわ」と宣言し
40歳ごろから“アイヌデンティティ”を取り戻していった著者が
その半生と深刻な差別の実態を綴った本

アイヌやめるのやーめた！

原田公久枝著

四六判並製246頁／定価：本体2000円＋税
ISBN 978-4-909281-79-1 C0036

これまでに著者に投げかけられた言葉の例（本文より）

- きっもちわる〜い、アイヌにぶつかっちゃったー
- アイヌなんかが試し履きしたもの、汚くてもう売れるわけないべや
- アイヌはな、裏方の仕事してればいいんだよ！　皿洗いとか掃除とかな！
- あ、そっかそっか。お前アイヌだから数字読めんか
- アイヌが！　偉そうにコーヒーとか……

9月下旬発売

この本を書いているときも、何度もペンが止まった。昔こんなことがあった、最近もこんなことがあった……と思い出しては、怒りなのか悔しさなのか悲しさなのか、それともそのすべてなのか、感情が爆発して書けなくなる。でも、それでも私が書かなければ、私がどう思って生きてきたか、どんな目に遭ってきたか残らないのだ。絶対に残してやる！とまたペンを握る。（本文より）

推薦！

悲しさにうつむいた。悔しさを噛みしめた。今もその思いの中にいる。そんな人に読んでもらいたい。アイヌ（アイヌ語で「人間」の意味）女性の人生を。魂って温度があるんだって、読んでくれた人と感じ合いたい。うんうんって、微笑み合いたい。

—— 俳優 **宇梶剛士**

推薦！

歴史の証言・記録は先住民族の「武器庫」だという。アイヌにとって刀や槍は宝でもあって、それらが山と置いてある場所がイヌマ。この本はウタリを助けて支える言葉のイヌマです。私的にツボだったのは「アイヌデンティティ」（本書p192）。

—— 北海道大学教授 **北原モコットゥナシ**
（『アイヌもやもや』〔303BOOKS刊〕著者）

原田公久枝（はらだ・きくえ）

1967年、北海道河西郡芽室町生まれ。札幌市在住。旧姓竹内。18歳年上のダンナあり、子どもなし（中学時代に「アイヌの血を継ぐ者はいらない」と思ったため。のちにその考えは変わるが、そのときには年齢と身体的に子どもを望めなかった）。中学1年のときに「差別」という作文を書いて、17歳のときにその作文の一部が社会科の教科書に載り、年寄りのアイヌのなかではちょっと有名人です。Facebook上での電子フリーペーパー『RUYKA ITAK』（言葉の架け橋）の代表。祖母や母から習った十勝アイヌの歌や踊りを世に広める活動もしています。豊川容子ちゃんとお笑いユニット「surku&tonoto」（毒と酒）を組み、“キャッツアイヌ”のネタをたまに披露しています。

＊本書は地方小扱いですので一部の書店を除き新刊配本はありません。必ず事前のご予約（ご注文）をお願いします。

寿郎社FAX011-708-8566まで

〔注文短冊〕

地方小出版流通センター取扱品

書店名（番線）

御担当者名

発行所	著者名	税込価格	発注日
寿郎社	原田公久枝	2200円	月　日

注文数　冊

書名　アイヌやめるのやーめた！

ISBN 978-4-909281-79-1 C0036

個人注文票　個人が注文する場合は①冊数②お名前③郵便番号／ご住所④電話番号をここに書き、書店にお持ちいただくか寿郎社までFAXでお送りください。寿郎社にご注文いただいた場合は1冊300円の送料がかかります。

お名前

郵便番号／ご住所 □□□-□□□□

電話番号　（　　）